

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

434

幼稚園管理事業（保健給食管理課）

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	2	健やかな体を育む教育の推進
取組方針	2	健康教育の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		幼稚園費	
	目		幼稚園管理費	
	大事業		幼稚園管理事業	
中事業		幼稚園管理事業（保健給食管理課）		

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	保健給食管理課	福井 博之	435-1137
事業実施の根拠法令			関連課				

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
	幼稚園給食を安全かつ衛生的に供給するため、施設整備の充実を図る。幼稚園管理下での園児の災害を救済する。		幼稚園給食を安全かつ衛生的に供給するため、施設整備の充実を図る。幼稚園管理下での園児の災害を救済する。		
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	日本スポーツ振興センターへ加入することにより、学校教育の円滑な実施を図れた。	独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、日本スポーツ振興センターに加入することにより、学校の管理下における園児の災害（負傷、疾病等）に対する給付を行った。	独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、日本スポーツ振興センターに加入することにより、学校の管理下における園児の災害（負傷、疾病等）に対する給付を行った。	独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、日本スポーツ振興センターに加入することにより、学校の管理下における園児の災害（負傷、疾病等）に対する給付を行う。	独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、日本スポーツ振興センターに加入することにより、学校の管理下における園児の災害（負傷、疾病等）に対する給付を行う。

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	741	1,130	635	539	903	545	579	0	579	0	
伸び率（%）	1.1%	93.2%	△14.3%	△52.3%	42.2%	1.1%	△35.9%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	640	720	725	725	717	797	637	0	637	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	640	720	725	725	717	797	637	0	637	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	174	161	160	145	144	104	126	0	126	0	
一般財源（税等）	567	969	475	394	759	441	453	0	453	0	
所要人数（人）	正規職員	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09	0.10	0.08	0.00	0.08	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	機械等借上料609千円、給食用器具費82千円、児童・生徒等災害共済掛金負担金212千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	日本スポーツ振興センターへの加入者数	人	目標値	800	711	513	630	630
			実績値	805	652	528		
			達成度(%)	100.0%	91.7%	102.9%	%	%
成果指標	日本スポーツ振興センターへの加入率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	91.7	102.9		
			達成度(%)	100%	91.7%	102.9%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○ できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	園児に対して治療費の援助を行うことにより園児は充実した幼稚園生活を送ることができる。また、園児のほとんどが加入しているため、今後も事業を継続していく。
見直し・改善内容	今後も高い加入率を維持するため、制度の周知を保護者へ行っていく。